

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	頁	開講科目
1年	12	大学生活論
2年	53	地域福祉保健
2年	70	口腔リハビリテーション論
3年	92	救急法・救急蘇生法

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●		●	●	

科目ナンバリング
CO-0-HSO-01

科目名	大学生生活論				単位認定者	小野寺 健		評価の方法	試験（レポート）	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	大学生生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識やスキルを身につける。具体的には、本学・各学科の教育方針の理解、大学での学び方（レポートの書き方、図書館の活用法等）、大学生生活の基礎知識（ネット社会の危険、消費者トラブル、交通ルールとマナー等）、健康に関わる知識（睡眠・食生活、ドラッグの危険性、大学生が会うところの問題等）を身につける。									
到達目標	1.大学生・社会人として基本的なマナーを身につける。 2.大学生生活を有意義に送るために知識やスキルを身につける。									
学修者への期待等	大学生生活が有意義なものとなるよう設定した科目である。各自の目標を達成するために、積極的に学ぶことを期待する。併せて、多くの仲間を作り、いろいろな考えに触れることで、人間的にも成長することを期待している。 各授業での持ち物：学生便覧、シラバス									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	大学生生活について：建学の精神、本学科の教育方針、入学許可証授与、授業のねらいと方針、授業ガイダンス、学業の到達目標（カリキュラムマップ、カリキュラムツアー）について								小野寺 健 伊藤 恵美	
2	大学生生活に関わる基礎知識1：学生生活のルールについて								学生総合 支援センター	
3	大学での学びについて1：大学時代になすべきこと、授業の受け方、ノートの取り方、自己学修（予習、復習）								小野寺 健	
4	大学での学びについて2：1) レポートのまとめ方、教科書・参考書の活用方法 2) 図書館の活用方法の講義と演習					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			小野寺 健 図書館司書	
5	健康に関わる基礎知識1：からだの健康について（睡眠・食生活など）					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			遠藤ちつる	
6	臨地実習指導①：見学実習の目的、見学実習生としての姿勢・心構え、社会人としてのマナー					（事前）課題プリントについて自分の考えをまとめておくこと。（概ね1時間程度）			伊藤 恵美	
7	臨地実習指導②：見学実習時の注意、実習生調書とお礼状の書き方					（事前）前回の配布プリントを読んでおくこと。（概ね30分程度）			伊藤 恵美	
8	臨地実習指導③：見学実習報告（プレゼンテーション）					（事前）見学実習の振り返りをまとめておくこと。（概ね30分程度）			伊藤 恵美	
9	臨地実習指導④：見学実習報告（プレゼンテーション）					（事前）見学実習の振り返りをまとめておくこと。（概ね30分程度）			伊藤 恵美	
10	健康に関わる基礎知識2：からだの健康について（ドラッグの危険性など）					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			遠藤ちつる ダルク	
11	大学生生活に関わる基礎知識2：ネット社会の危険について					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			仙台中央 警察署	
12	健康に関わる基礎知識3：大学で会うところの問題					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			神山 直子	
13	大学生生活に関わる基礎知識3：交通ルールとマナーについて					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			仙台中央 警察署	
14	大学生生活に関わる基礎知識4：消費者トラブルについて					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			SMBCコンシューマー ファイナンス	
15	大学生生活に関わる基礎知識5：大学生のための主権者教育（選挙権）について					（事後）講演内容をレポートとしてまとめ次回提出のこと。（概ね1時間程度）			仙台市選管 事務局	
教科書	参考資料を適宜配布する。									
参考文献	「最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理」全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社									
備考	レポート等、内容を確認して授業内で総括する。授業内容は、状況に応じて変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-15				
	●	●			●					
科目名	地域福祉保健			単位認定者	小野寺健 大森 俊也 石河 理紗		試験（筆記）	70 %		
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数	40 時間	授業内課題（小テスト等）	10 %
				授業回数		20 回				
授業の概要	それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者が互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む地域福祉の考え方を学ぶ。さらに、歯科における地域保健活動の実際についての知識を修得し、人々の福祉をいかに支援できるかを学ぶ。また、歯科保健情報の収集および分析の手段として保健統計の基礎を学ぶ。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の歯と口腔の健康づくりを支援するための基礎と方策について理解する。 ・一人ひとりの生活行動が身近な地域福祉活動に結びつくものであること、また、一人ひとりが社会資源として地域福祉のネットワークに参画する必要性について理解する。 ・保健統計とは、健康増進、疾病予防、医療等人の健康に関する統計のことを指す。本科目では、保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。さらに医療の現場で得られる様々なデータは、そのままでは理解することが難しい場合も多い。そうしたデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。 									
学修者への期待等	地域福祉について、口腔の健康に及ぼす要因も含めて理解する。基本的な統計学的手法について理解する。授業終了後に重要項目をまとめた小テストを実施するので、その内容については次回までに復習することが望ましい。									
回	授業計画			準備学修			担当			
1	地域保健・公衆衛生 生活と健康、地域社会と保健対策の基本的な考え方を学び、時代の変化に伴う地域保健活動の変化から、今日の現状を概説する。			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
2	保健情報と保健統計、国家統計調査について						小野寺 健			
3	地域保健の新たな概念 8020運動、健康日本21 ヘルスプロモーション、ノーマライゼーションや健康危機管理の考え方を説明する。健康づくり対策と地域歯科保健について説明する。			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
4	母子保健 母子保健の現状と今後 母子手帳の概略を説明する。母子健康手帳に記載された口腔関連質問項目を列挙する。①妊産婦②1歳6カ月児③3歳児健康診断の目的、う蝕			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
5	保健情報と疫学(総論、方法論)、歯科疾患の指数(数量化と指数、様々な歯科保健指標)						小野寺 健			
6	学校保健 ①学校保健の対象者とその意義を説明する②学校において罹患率の高い疾病異常をあげる③学校保健の保健教育と保健管理の概要を説明			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
7	成人・老人保健 ①生活習慣病のリスクファクターを説明②高齢者の保健対策を説明③老人保健事業を説明④介護保険サービスである地域支援事業と新予防給付を理解			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
8	産業保健1 産業保健の①目的②法規③職業性疾患要因④安全衛生管理⑤労働衛生対策			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
9	精神保健 精神保健の①定義②意義③福祉行政④精神医療の現状課題⑤精神障害者の歯科保健			毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。			石河 理紗			
10	保健情報の分析手順(保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出)						小野寺 健			

回	授業計画	準備学修	担当
11	国際保健 国際保健の①国際協力機関②WHOやJICAの活動概要	毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。	石河 理紗
12	まとめ 口腔衛生学ならびに歯科衛生統計の基礎に関するまとめを行う。	毎回これまでの内容を復習するので、特に予習や復習は必要としない。	石河 理紗
13	保健統計の方法(データの特性、記述統計、推定と信頼区間、保健情報の多変量解析)	次回授業時、保健統計に関する小テストを行う予定。(概ね2時間程度の事前学修が必要)	小野寺 健
14	保健情報の分析演習(解析と検定の演習)		小野寺 健
15	福祉コミュニティの形成に各自が関与するという意識を高める。「地域福祉」が社会福祉法に盛り込まれてきた背景について、少子高齢から少産多死の人口減少社会の諸相から「地域福祉」を捉える。	配布資料、スライド資料のもとで進める。(概ね20分)	大森 俊也
16	Welfare社会福祉からWell-being福祉社会への転換につながる思想、地域福祉の理念について理解を深める。	ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティアコーディネート等の項目についてテキストを精読しておく。(概ね20分)	大森 俊也
17	地域福祉の視点と構成要素の整理する。 ①コミュニティ重視 ②政策制度 ③在宅福祉 ④住民の主体形成と参加等という4つの志向軸から地域福祉の構成要素にふれ、理解を深める。	左記の項目についてテキスト記載部分およびソーシャルサポートネットワーク、パートナーシップの項目についてテキストを精読しておく。(概ね20分)	大森 俊也
18	地域福祉の対象について整理する。 社会福祉法による地域福祉計画、地域福祉活動計画等について実際例をもとに地域づくりのためのネットワーキングについて理解を深める。	テキストの社会福祉協議会、ネットワーキングをピックアップして精読しておく。(概ね20分)	大森 俊也
19	住民による福祉組織化と多職種連携による地域包括ケアは、未成熟であるが概念として構成図から理解する。プロセス重視、個別化、総合化、資源開発という原則、情報収集と情報共有がネットワークを強固にすることの理解を深める。	事前配布資料からイメージしておく。(概ね20分)	大森 俊也
20	地域福祉分野の全授業を振り返り、ひとり一人が担い手として福祉コミュニティの形成に関与し、また、多職種連携やパートナーシップのもとで地域福祉が展開するという理解と意識を高め、地域福祉分野の講義をまとめる。		大森 俊也
教科書	「最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 「よくわかる地域福祉 第5版」上野谷加代子・松端克文・山縣文治編、ミネルヴァ書房 「最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献			
備考	小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-10				
	●	●	●	●	●					
科目名	口腔リハビリテーション論				単位認定者	佐藤 奈央子 鈴木 将太		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		20 時間	
				授業回数		10 回				
授業の概要	摂食・嚥下のしくみとそれにかかわる障害についての歯科衛生士の役割を理解する。口腔の問題・障害を克服する口腔リハビリテーションについて学ぶ。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 摂食・嚥下の正常なしくみと生理について理解し、リハビリテーションにつながる評価について説明できる。 摂食・嚥下のトレーニングについて、その意味と適応を知る。 									
学修者への期待等	ただ単に聴講するだけでなく、取り組むべき課題を自分自身で見つけ、検討するという姿勢で授業に挑むこと。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	摂食嚥下に関わる諸器官の解剖1 認知期、準備期、口腔期、嚥下反射、咽頭期				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			鈴木 将太		
2	摂食嚥下に関わる諸器官の解剖2 食道期、蠕動期、嚥下障害の原因				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			鈴木 将太		
3	摂食・嚥下リハビリテーション概要				教科書1章 摂食・嚥下のメカニズムを読んでもらうこと。(30分程度)			佐藤奈央子		
4	摂食嚥下の段階(5期モデル、プロセスモデル等)				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			鈴木 将太		
5	摂食・嚥下障害と歯科との関わり1(評価・訓練)				教科書2章 摂食・嚥下障害の観察と評価を読んでもらうこと。(30分程度)			佐藤奈央子		
6	摂食嚥下の評価1(現病歴と現況の把握 情報収集)				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			鈴木 将太		
7	摂食・嚥下障害と歯科との関わり2(口腔ケア)				教科書5章 口腔ケアを読んでもらうこと。(30分程度)			佐藤奈央子		
8	摂食嚥下の評価2(身体所見と摂食場面の観察ポイントとその注意点、留意点)				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			鈴木 将太		
9	摂食・嚥下障害と歯科との関わり3(補綴等)				前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			佐藤奈央子		
10	動画で見る摂食・嚥下リハビリテーション				あらかじめ付属DVDを見ておくこと。(40分程度)			佐藤奈央子		
教科書	「動画でわかる摂食・嚥下リハビリテーション」藤島一郎・柴本勇監修、中山書店									
参考文献	「口から食べる嚥下障害Q&A」藤島一郎著、中央法規出版株式会社									
備考										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-18				
	●	●	●	●	●					
科目名	救急法・救急蘇生法				単位認定者	下田 元 菅原 一昭		試験(筆記)	90 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	救急処置と蘇生法の基礎を学び、歯科医療スタッフの一員として現場で応用できるようになることを目的とする。									
到達目標	歯科の臨床現場で、緊急時、正しい救急処置と心肺蘇生法を行うことができるようにする。									
学修者への期待等	教科書などで関連内容を熟読し復習してください。歯科口腔外科臨床で患者さんの安心、安全な全身管理を行うための重要な科目です。身近な人が突然倒れたときに、救急救命の知識があれば命を救うことができます。無知であれば、救急車が到着するまでなすすべがなく救うことができません。後で後悔しない為にも、救急救命法を学んで頂きたい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	ガイドンス(評価方法。受講するにあたっての心構え)							菅原一昭		
2	応急手当の重要性。救命の処置。				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)			菅原一昭		
3	気道異物除去。止血法。体位管理。搬送法。				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)			菅原一昭		
4	特殊な傷病とその応急手当。				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)			菅原一昭		
5	心肺蘇生法の実技(成人・小児)周囲安全確認、反応の確認、通報、呼吸の確認				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。			菅原一昭		
6	心肺蘇生法の実技(成人・小児)胸骨圧迫				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。			菅原一昭		
7	バイタルサイン、心肺蘇生法(BLS)の知識・手技の修得				教科書などで関連内容を予習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)			下田 元		
8	歯科口腔外科診療時の局所的・全身的偶発症、その症状、対処法の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)			下田 元		
9	心肺蘇生法の実技(成人・小児)気道確保、人工呼吸法				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。			菅原一昭		
10	全身的基礎疾患を有する歯科口腔外科患者の全身管理、その病態、発症時の対処法の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)			下田 元		
11	局所麻酔法、全身麻酔法、精神鎮静法、および、周術期患者管理、周術期合併症とその対処法の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)			下田 元		
12	心肺蘇生法の実技(成人・AED)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。			菅原一昭		
13	実技効果に備えての練習				【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間程度)。			菅原一昭		
14	インシデント・アクシデント報告、医療事故と法的責任、歯科衛生士に期待される役割についての理解				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)			下田 元		
15	実技効果確認				【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間程度)。			菅原一昭		
教科書	「最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社、菅原担当分はテキストは特に指定せず、随時プリントをこちらで準備する。									
参考文献	特に指定しない									
備考	下田：講義ごとにその講義内容に関する資料を配布します。知識の整理、復習、応用に繋げる習慣を身に付けてください。 菅原：◎実技時、服装は白衣。ナースシューズ。髪は後ろで結ぶ。必要に応じ授業内容に関連する資料を配布します。(菅原担当分はクラス別で授業を実施する)◎授業で理解できなかったことや試験の模範解答などの質問に関しては3号館1階職員室(菅原)で対応する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--